

社会科学習指導案

授業者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時・場所 平成22年12月〇日
- 2 学年・学級 第4学年〇組
- 3 単元名 広島県の特色ある地域－広島県の島々とみかん－
- 4 単元設定の理由

(1) 教材観

本単元で扱う，県内の島々では，気候，地形，土壌などの地理的要因の他に，歴史的要因，市場などの経済的要因，さらには人的な要因などが関連しあって，みかん作りが盛んに行われている。このように，県内には，それぞれの様々な条件を活かしながら，人々が互いに協力して特色ある地域が形成されている。これらの特色ある地域が形成された要因，本単元においては，県内の島々でみかん作りが盛んである要因を追究していく中で，児童の社会的な見方・考え方を育てていきたい。

(2) 児童観

各教科について，本学級の児童に行ったアンケート（4月）によると，社会科について，わかりやすい教科だと感じている児童は70%，楽しい授業だと感じている児童は47%であった。他教科と比べると，わかりやすさは最も大きく，楽しさは平均的であった。本学級の児童には，社会科を，とてもわかりやすい教科と捉えるとともに，授業には特別な楽しさを感じていないという傾向がある。

次に，社会的な見方や考え方については，社会的な事象について，自然条件に視点を当てて考えようとする児童が多く，その他の視点（例えば歴史的な条件等）から考えることのできる児童は限られるという実態がある。

(3) 指導観

社会科授業は，根幹として，社会的な事象に対する児童の興味・関心がなくてはならない。本学級の児童の実態をふまえて，授業を楽しみと実感でき，興味・関心が高まるよう，教材，発問，学習活動を工夫する。

社会的な見方や考え方を育てるには，既存の日常的な子どもの見方や考え方を客観的な見方や考え方，あるいは仮説的な見方や考え方へと変容させる必要がある。そのためには，①段階的に見方や考え方が向上していくように単元を構成する工夫，②それまでに学習した社会的な見方や考え方を想起しやすくする工夫，③変容した自分の見方や考え方を意識できるようにする工夫を取り入れたい。

5 単元の目標

- (1) 広島県の島々でみかん作りが盛んな要因について，地理的要因や歴史的要因，経済的要因等と関連づけながら，意欲的に調べることができる。
(関心・意欲・態度)
- (2) 広島県の島々でみかん作りが盛んな要因について，生産されるもののもつ性質やその地域の気候，地形，土壌などの地理的要因，生活様式や文化などの歴史的要因，市場などの経済的要因等と関連づけながら考え，適切に表現することができる。
(思考・判断・表現)
- (3) 広島県の島々でみかん作りが盛んな要因について，資料の活用や観察，聞き取り調査，既習事項や生活経験などを通して具体的に調べることができる。(技能)
- (4) 広島県の島々でみかん作りをする人々は，生産するもののもつ性質やその地域の気候，地形，土壌などの地理的要因，生活様式や文化などの歴史的要因，市場などの経済的要因等を活かして，特色ある地域を形成してきたことがわかる。
(知識・理解)

6 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用技能	社会的事象についての知識・理解
・広島県の島々でみかん作りが盛んな要因について、地理的要因や歴史的要因、経済的要因等と関連づけながら、意欲的に調べることができる。	・広島県の島々でみかん作りが盛んな要因について、生産されるもののもつ性質やその地域の気候、地形、土壌などの地理的要因、生活様式や文化などの歴史的要因、市場などの経済的要因等と関連づけながら考え、適切に表現することができる。	・広島県の島々でみかん作りが盛んな要因について、資料の活用や観察、聞き取り調査、既習事項や生活経験などを通して具体的に調べることができる。	・広島県の島々でみかん作りをする人々は、生産するもののもつ性質やその地域の気候、地形、土壌などの地理的な要因、生活様式や文化などの歴史的要因、市場などの経済的要因等を活かして、特色ある地域を形成してきたことがわかっている。

7 学習指導計画（全5時間）

過程	学習のねらい	主な学習活動と発問	■支援・留意事項 ☆資料
社会を知る	・広島県の島々でみかん作りが盛んなことを知る。	1 広島県でみかんが盛んに栽培されていることを探す。 ・広島県でみかんが盛んに作られているところを探しましょう。	☆地図帳 ☆都道府県別みかんの収穫量 ■広島県のみかんの生産量が全国7位であることやみかんの収穫量を実感できるようにする。
	なぜ、広島県の島々で、みかん作りがさかんなのだろうか。		
社会がわかる	・広島県の島々の自然条件とみかんの性質が合致しているため、みかん作りが盛んになったことがわかる。	2 広島県の島々の自然条件とみかんの性質を資料から取り出し、合致しているところを見つける ・広島県の島々とみかんがつながるところはどこでしょう。	☆大崎下島の気候、地形、土 ☆みかんの性質 ■花崗岩の水はけの良さを実感できるように高野町の黒ボク土の水はけ度実験を行う。
	・広島県の島々では、人的要因と歴史的要因、経済的要因が関連して、みかん作りが盛んになったことがわかる。 <本時>	3 広島県の島々でみかん作りが盛んになった他の要因について追究する。 ・広島県の島々の人たちがみかん作りをするようになるために、自然条件以外にどうしても必要なことは何でしょう。	■劇化を取り入れることで、実感を伴って、本時の学習課題を追究していくことができるようにする。

社会に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県の島々では、値段が高くたくさん売れるみかん作りをするために、みかんのブランド化に成功したことがわかる。 	<p>4 みかんの値段を高くするための方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通のみかんより高く売れるようには、どうしたらよいだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ハウスみかんと普通のみかんの価格 ☆有田みかん、三ヶ日みかんの価格 ■旬をずらしたみかんの価格やブランド化されたみかんの価格を提示することで、需要と供給の関係を理解できるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県の島々のみかん作りを維持、成長させていくための方策がわかる 	<p>5 広島県の島々のみかん作り農家の悩みを解決する方法を考え、実際に取り組まれていることがわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通のみかんより高く売れるようには、どうしたらよいだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ■既習内容を活かしながら、子どもなりの考えを出させ、それと実際に取り組まれていることを比較することで、人々の営みのすごさを実感できるようにする。

8 本時の目標

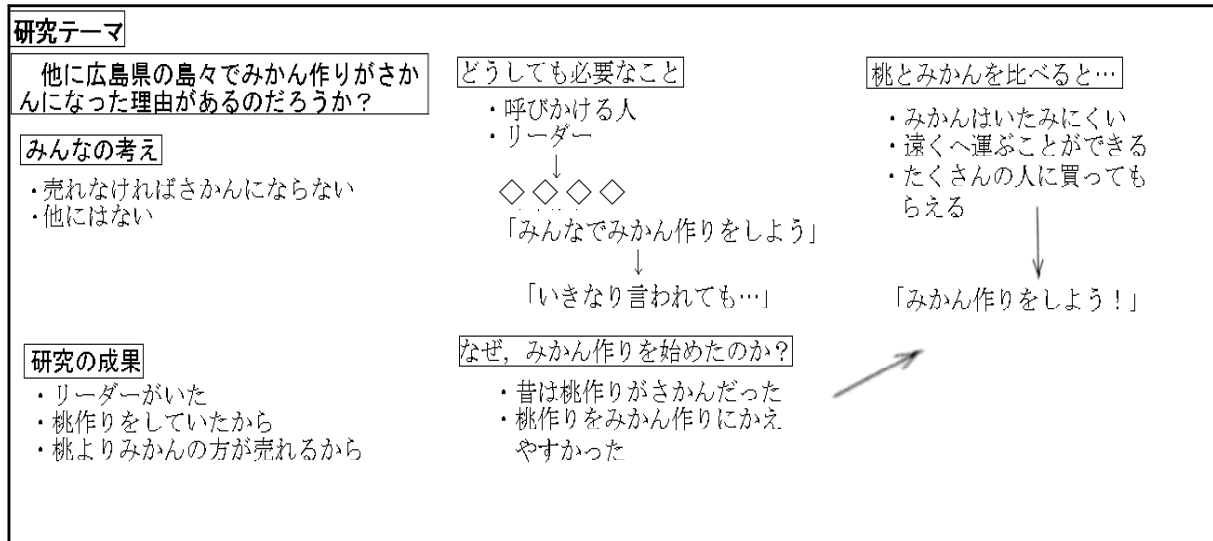
広島県の島々では、人的要因や歴史的要因、経済的要因が関連し合って、みかん作りが盛んになったことがわかる。

9 本時の展開（第3時）

教師の発問指示と児童の反応(・)	支援(※)・資料(○)	学習活動のねらい
<p>1 前の時間の気づきを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候や土だけではなく、他にもみかん作りが盛んになる理由があると思いました。 	<p>※本時の学習課題につながる気づきを発表させるようにする。</p>	<p>本時の学習課題がわかる</p>
<p>他に広島県の島々でみかん作りがさかんになった理由があるのではないか。</p>		
<p>2 自分の考えをワークシートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売れなくては盛んにならない ・他の理由はないと思う 	<p>○ワークシート</p> <p>※今の自分の現状を認識できるように、この段階では自由に予想を書かせるようにする。</p>	<p>自分の考えを書くことができる</p>
<p>3 広島県の島々の人たちがみかん作りを始めないと売ることができません。みかん作りをするために、まず必要なことは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかける人が必要 ・リーダーが必要 	<p>※クラスみんなで何かをしようとする場面をイメージさせ、リーダーの必要性に気づくことができるようにする。</p>	<p>産地を形成するためには、人的要因が必要なことがわかる。</p>

<p>4 先生が◇◇◇◇さんになってみかん作りをするようみんなに呼びかけます。広島県の島々の人になったつもりで反応してください。</p> <p>・いきなり言われも困る</p>	<p>※劇化することでリーダーが呼びかけるだけでは、みかん作りが盛んにならないことが実感できるようにする。</p>	<p>人的要因以外の産地形成要因が必要なことがわかる。</p>
<p>5 以前は桃作りが盛んでした。どうして、桃作りからみかん作りが変わっていったのでしょうか。</p> <p>・みかんの方が腐りにくいし、遠くへ運ぶことができるからたくさんの人に買ってもらえることができる。</p>	<p>○広島県の島々の地図 ○みかんと桃 ※広島県の島々の名前から、以前は桃作りが盛んだったことに気づくことができるようにする。 ※みかんと桃を提示することで、桃に比べてみかんの方が利益を生むことがわかるようにする。</p>	<p>産地を形成するためには、歴史的要因も必要なことがわかる。</p>
<p>6 今日の気づきをワークシートに書きましょう。</p>	<p>※自己の成長を見取ることができる気づきを発表させることで本時の学習に対する達成感を得ることができるようにする。</p>	<p>本時の気づきを書くことができる。</p>

10 板書計画



11 その他

① ◇◇◇◇さん役のセリフ

みなさんでみかん作りをしましょう。このみかんは、とってもおいしいですよ。みなさんの住んでいる島々は、気候も土も地形もみかん作りに合うのですよ。それだけではありません。みなさんは、今、あまり人気のない○○をたくさん作っているでしょう。それをみかん作りに変えればよいのですよ。

② 本時に使用するワークシート

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>研究テーマ</p> <hr/> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>自分の考え</p> <div style="border: 1px dashed black; height: 80px; width: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなの考え</p> <div style="border: 1px dashed black; height: 80px; width: 100%;"></div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>研究の成果</p> <div style="border: 1px dashed black; height: 100px; width: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ふり回りコーナー</p> <p><新しくわかったこと></p> <p><気づいたこと・書えたこと・思ったこと></p> <p><ハテナ?></p> </div> <div style="text-align: right; font-size: small; margin-top: 5px;"> 4年 組 _____ 番 名前 _____ </div>
---	--

③ 参考資料「第4学年 広島県の特徴ある地域」で扱う各地域の特徴ある産業とそれを支える要因

	だいこん	みかん	なし	熊野筆
旬	秋から冬	冬	秋	/
気候	暑い気候は×	-5℃以下は×	気温差がはげしい	/
地形・土	黒ぼく土	花崗岩	/	/
歴史	/	ももの栽培	農業が主な産業であったが、十分な収入がなく、未来に希望のもてる農業の方法を考えていた。	農業が主な産業で、和歌山県や奈良県に出かせぎにいていた。
リーダー(人)	/	◇ ◇ ◇ ◇	/	△ △ △ △
国や県	/	/	国営広島中部台地農地開発事業	習字教育の開始
売れる秘けつ	旬をずらす	品種改良(ブランド化)	観光で人をよぶ	値段が安かった